



元気な120才を創る会
延ばそう・健康寿命



月刊 高齢者見守りサービス最前線レポート
みまもりプレス

18.JUN.2020
6月18日号
通巻036号

■発行所／(株)びゅ〜すまいる編集舗・みまもりプレス編集部 〒116-0001 東京都荒川区町屋 2-2-15 Primera ODA 301号
■2020年6月18日発行号 ■TEL.03-6807-8287 FAX.03-6807-7317 ■発行者・編集人／八木澤 晃 ■毎月第3木曜日発行

ミマモルメ

検温機能が付いた『AI検温ミマモルメ』が登場

児童、生徒を見守る『登下校ミマモルメ』との連携も開発中



<https://www.hanshin-anshin.jp>

阪急阪神HDSグループのミマモルメ(大阪市福島区)では、体温計測と顔認証に最適な小型端末『AI検温ミマモルメ』の販売を開始した。

現在、新型コロナウイルスの感染拡大防止を目的として、各種施設や企業で「検温」の実施が増加してきたが、対面での体温計測によって行列が発生し、接触感染リスクが高まるという課題も生まれているという。

『AI検温ミマモルメ』は、サーモグラフィと人工知能(AI)による顔認証システムを活用することで、端末から「0.5m〜1m」の距離で「0.5秒以内」に非接触で体温を計測。「行列の発生を抑制し、接触感染リスクの低減が期待できます」と同社、単純な計測だけでなく、個人ごとの履歴管理が可能というところも注目すべきポイント。

ミマモルメでは、現在同社が提供中の『登下校ミマモルメ』サービスと、この『AI検温ミマモルメ』を連携させ、保護者への通知機能なども盛り込む考え。

また、『AI検温ミマモルメ』の利用用途は教育機関等に限定せず、商業施設、店舗、各種サービス施設、企業等へも販売するとしている。

トイレの使用状況で離れた家族を遠隔みまもり

親を想うきっかけをつくる『omu』クラウドファンディング開始：NITTO CERA



住宅設備機器販売のNITTO CER A(ニットーセラ/愛知県常滑市)では、トイレタンクに設置して離れた家族を見守るIoTサービス『omu(オム)』についてのクラウドファンディング(Makuake)を開始した。

トイレタンクに置かれた『omu』は、トイレ使用時に流れる水を検知。生活導線上にあるトイレの使用データを通じて、離れて暮らす親や近くに住んでいてもあまり連絡を取れていない親の「いつも通り」を知ることができるサービスで、同社とノバルス(東京都千代田区)の共同開発によって誕生した。『omu』の設置方法は、まさに水洗トイレタンクに置くだけで、設備工事は必要はない。月々の使用料980円(税抜)。

<https://www.makuake.com/project/omu>

シニアが元気になると
日本が元気になる!

元気シニア倶楽部
会員募集中!!

—入会費・年会費なし—

一般社団法人
日本元気シニア総研

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 4-4-5 第3伊藤ビル4階
tel.050-5533-3100 fax.03-5791-5859 Email. info@genkisenior.com



「アクティブシニア」
増加中

介護事業支援

遠隔みまもり

高齢者の施設内転倒を見守る「AI」の目

『ヤモリン転倒検知システム』販売開始：mtes Neural Networks

AI、IoT 技術開発の mtes Neural Networks(エムテス ニューラル ネットワークス/東京都品川区)では、AI カメラを使って人の転倒を検知する『ヤモリン転倒検知システム』を開発した。

本システムは、画像分析機能を備えた AI カメラが「半径 10 メートル、約 120 度」の範囲で人の転倒を検知し、LINE や slack に通知するというもの。

同社では「本システムを活用することで、医療や介護施設などで起きる高齢者の転倒事故を直ちに検知することが可能となる——」としたうえ

で、「慢性化する人手不足やコロナ禍による対人接触の制限などで不安視される現場崩壊を防ぐことにつながります。6 月から販売を始め、価格は AI カメラ 1 台あたり月額 2500 円を予定しています。初年度に 3 万台

の導入を目指しています——」とする。

また、並行して同社では(株) 関東サンガが運営する有料老人ホーム『あきる野翔裕館』(東京都あきる野市)に AI カメラ 4 台を導入し、6 月 5 日から実証試験を始めたとのこと。



<https://www.mtesnn.jp>

都立施設『新型コロナ見守りサービス』提供開始を発表

施設の訪問履歴に基づいて感染情報などを通知：東京都

「本サービスによって、市中感染リスクの低減や早期相談につなげ、『新しい日常』の定着とともに第2波への備えを強化していきます。施設の利用にあたり、感染拡大防止のご理解とご協力をお願いいたします。」(東京都)

対象となる施設(予定)は、都の文化施設、スポーツ施設、庭園・動物園、図書館など(今後、順次拡大)としている。

利用にあたっての登録は、『都立施設入館システム』とLINE『新型コロナ対策パーソナルサポート』から選択。施設入口に掲示されている「QRコード」をスマホ等のカメラで読み取ることで手軽に行えるという。通知に関しては、登録時に選択したサービスで受け取るという流れ。

東京都では、美術館・博物館、図書館など多くの利用者が訪れる都立施設に対して『東京版新型コロナ見守りサービス』の運用を開始する。

本サービスは、都立施設で新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生した場合に、施設の訪問履歴に基づいて利用者に迅速に感染情報を通知するというもの。

<https://prtmes.jp/a/?f=d52467-20200605-8291.pdf>

アイデアの**商品化**を推進する
身近な**発明展**[®]
ヒント

特許料
3億円!

アイデア
募集中

特許料
6千万円!

発明家たちの
登竜門

企業の
新製品
開発に



小さな創造を社会に活かす
一般社団法人**発明学会**

<https://www.hatsumei.or.jp/>

情熱の発明商品・発掘プロジェクト

生活にやさしい『なるほどアイテム』を探せ

当コーナーでは、発明学会（東京都新宿区）のご協力をいただき「情熱の発明品」をご紹介します。テーマは『介護予防』——それと並行して子どもや高齢者、そして生活全般にやさしい「なるほどアイテム」をピックアップします！掲載された商品に興味のある方は下記までご一報ください。

第35回 はさんで・めくって・袋に入ってる！

犬の落とし物の処理を簡単に！『わんぽろキャッチ』



クラウドファンディングで
通常 1,540 円のところ 1,386 円(10%OFF 送料税込み)で購入可能！

愛犬家の小林聡子さん。ワ
ンコの散歩に欠かせないのが
「うんち（わんぽろ）」の始
末。このうんちを処理する際
は、紙をかぶせて袋越しにつ
まんだり、何よりもあの感触

が悩みの種でした。また、ゆ
るいうんちの場合は、取るこ
とすらできません。草の上
にうんちも、草に残ってし
まいます。草に直接受け止め
られないか、苦慮をしていま
した。

そこで、うんちを簡単に拾
い、そのまま袋に入れられる
道具があれば、もっと、人
にも、犬にも、やさしいま
ちになれるはず！そんな思い
で、発明に着手し、改良を重ね
て完成した道具が『わんぽろ

キャッチ』です。
二つ折りになる樹脂板に、
持ち手部と、つかみ部をも
うけ、樹脂板縁部に立ち上
り部がある構造です。広げ
ると、まるで相撲の軍配のよ
うな形をしています。
使う時は、わんぽろキャッ
チにビニール袋をかぶせ、落
ちたうんちをつまみます。わ
んぽろキャッチは広い面で、
うんちの形状を崩すことなく
はさみ、立ち上がり部分で
すくい上げるため、うんちを
しっかりと拾うことができます。

ビニール袋越しにうんちを
はさんだら、手元のビニール
をクルリとめくり、ひっくり
返すと、二つ折りの板にはさ
まれたうんちがビニール袋
の中へ入ります。わんぽろ
キャッチにかぶせたビニール
袋の上に、さらにトイレッ
トペーパーを巻きつければ、紙
に挟まれた状態でうんちが袋
の中に入るの、安心してト
イレに流すこともできます。

つかおものを直接触れること
なくビニール袋に入れること
ができるため、駆除したゴミ
ブリヤ、不衛生な使用済みマ

スクなどを処理するにも最適
です。
現在、このわんぽろキャッ
チでクラウドファンディング
に挑戦中の小林さん。ペット
用品や、ノベルティグッズと
して商品化採用も目指し熱意
奮闘中です！（松野泰明）

無料プレゼント！ 発明ガイドブック

『発明ライフ入門』（希望者は下記まで）

〈この商品のお問い合わせは〉

一般社団法人 発明学会 発明アドバイザー 松野MP係 まで

東京都新宿区余丁町7番1号 発明学会ビル

☎ 03(5366)8811 y-matsuno@hatsume.or.jp

こちら『元気シニアビジネスアドバイザー!!!』

ブレンモンジュ・林野均の「シニア萬、遊記」第33回

新しい方法「リモートみまもり」

— 変わってしまった生活習慣の「プラス面」にスポットをあてて —

新型コロナウイルスに関しては、全国的に緊急事態宣言が解除され、東京でも東京アラートが解除されました。とは言ってもすぐに以前のように外出できるような状況にはなっていません。第二波の襲来に備えた外出自粛をする必要はありそうです。

今回の事態で脚光を浴びたのが『リモート』という言葉。「リモートワーク」や「リモート飲み会」がいろいろな場面で聞かれました。テレビのバラエティー番組でも「リモート出演」が当たり前のようになってきました。ついには病院や介護施設において「リモート面会」を始めたところも出てきました。

この「リモート」を「みまもり」に生かす事も出来そうです。離れた場所に住んでいる親御さん

の見守りにはいろいろな機械が開発されていますが、機械で監視するだけではなく、直接顔を見て話をすることが一番大事なような気がします。いままでは、遠くに住んでいるのでなかなか会えないということもありましたが、今回の騒動を逆手にとって、「リモート帰省」を習慣化したらいかがでしょうか？ いろいろなアプリも開発され、使いやすくなっているようです。移動時間を会話時間に回すことで、いままで以上に接触時間が増えるでしょう。年配でパソコンやスマホに弱いという方も、たとえばお孫さんと会えるとなったら一生懸命勉強するのではないのでしょうか。認知症予防にも効果があると思います。

この新型コロナウイルスによ

る社会の変化は、終息後も以前に戻ることは出来ないでしょうし、すべて以前に戻す必要もないと思います。新しい仕組みをうまく活用して見守りにも生かしていきましょう。



*写真はイメージです。

Author / 林野 均 (はやしのひとし)

プランニング・ブレン・モンジュ代表 / 一般社団法人 日本元気シニア総研研究委員

『元気シニアビジネスアドバイザー』資格を取得後、元気シニア総研研究委員として、シニア向け商品やサービスの取材を「自らのシニア目線」で精力的に行なっている。

<https://planningbrain.com>



デイサービス生活相談員ネットワークの
『生活相談員』講座

ちっちゃいマメをおっきく育て、
夢のある未来を創造します。

株式会社スリービーンズ

<http://3beans.jp>

Let's enjoy your senior life

元気なシニアライフを
応援します！

<https://planningbrain.com>

シニアのためのコンシェルジュ
プランニング・ブレン・モンジュ
tel.090-3682-3310

シニア生活支援

タクシーの新サービス運用を開始

『京王すまいるサポートタクシー』で地域をサポート(青梅市)：京王電鉄

京王自動車(京王グループ/東京都多摩市)では、青梅市内のユーザーを対象に『京王すまいるサポートタクシー』のサービスを開始した。

同サービスは、病院やお墓参り・市役所への付き添いを中心とした(1)『付き添いコース』に、買い物代行やクリーニングの受け取り、ペットの送迎等の(2)『おまかせコース』の2コースから構成されている。

『付き添いコース』は、出発地は青梅市内限定。送迎とお手伝いを中心に、買い物・病院・お墓参り・市役所・銀行等、さまざまなユーザーの要望に対して、京王タクシーが付き添いをしながらサービスを提供するというもの。

また『おまかせコース』は、青梅市内限定でユーザーは乗車せず、京

王タクシーの乗務員による買い物・クリーニングや葉の受け取り・デリバリー・ペットの送迎・見守りなどのサービスを代行してくれるという内容。

同社では「青梅市周辺では、高齢のお客さまも多く、日ごろから移動手段としてのタクシー利用のほか、買い物や通院などでの利用も多いエ

リアです。『京王すまいるサポートタクシー』は、これまでのタクシー業としての強みとノウハウを最大限に活用し、高齢のお客さまを中心とした移動だけにとどまらない、さまざまなニーズにも応えるための新たなサービスです——」(京王自動車)としている。



<https://www.keiotaxi.co.jp>

認定こども園などに空気清浄機を寄贈

「ウイルス感染予防をサポートできれば」と計74台：デロンギ・ジャパン

寄贈先は「学校法人岩手キリスト教学園」「特定非営利活動法人フローレンス」「ファミリーハウス運営団体の6施設」など。

デロンギ(Delonghi)は20世紀前半から、イタリア北部の街トレヴィーゾでクラフトマンワイクショップ(職人の作業場)としてスタートした家電ブランド。日本法人の「デロンギ・ジャパン(株)」は1995年に設立され、日本市場向け家庭用・業務用電気製品の輸入販売などを行なっている。

同社では「新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、デロンギでも何か社会貢献をできることがないか検討してきた結果、小さなお子さまとご家族が利用する施設に対し、衛生商品と併せて関心が高まっている空気清浄機を寄贈することで、ウイルス感染予防をサポートできればと考えています——(デロンギ・ジャパン)とし、計74台の空気清浄機が各所に寄贈される。

デロンギ・ジャパン(東京都千代田区)では、認定こども園やNPO法人が運営する施設に対して、同社の空気清浄機能付きファン「HFX85W14C」を寄贈することを発表した。



<https://www.delonghi.co.jp>

さがし愛・見守りセット
介護保険適用

ビーコンが、在室・外出・徘徊を検知、アラートでご家族に知らせます。



◎TAISコード：01717-000002
◎分類：徘徊老人監視システム
◎希望小売価格：¥150,000

製造：株式会社サンコウ電子
販売：さがし愛ネット合同会社

東京都千代田区外神田 2-12-6
ホリビル 3F

<http://www.sagashi-ai.net>

安心のビーコン見守り

介護施設・無料モニター募集中!

- ・デイサービスご利用者などに簡単に体験して頂けます。
- ・受信機を置くだけで安心の見守りシステムができます。
- ・設置料・通信費などのご負担は一切ありません。



※地域ごとにモニター募集期間を設けます。詳しくは下記まで。

フリーダイヤル

0120-966-696

メール

contact@sagashi-ai.net

熱視線 あの製品にフォーカス

『ネコサポステーション(多摩市)』
地域独居高齢者を対象に開始

ヤマト運輸

IoT電球を使った見守り実証実験

ヤマト運輸(東京都
中央区)とハローラ
イト(東京都千代田
区)では、東京都多
摩市にある『ヤマト運
輸ネコサポステーシ
ョン』で、IoT電球
『Hello Light(ハロ
ーライト)』による見
守りサービスの実証
実験を実施する。多
摩市在住の独居高齢
者を対象とし、20
20年6月22日より
開始される。

ヤマト運輸の『ネコ
サポ』とは、「暮らし
のために、できるこ
と、いろいろ」をコ
ンセプトに、ヤマト
グループの経営資源
が活用され、地域住
民の快適な暮らしを
サポートするための
サービス。
団地内や近隣の商
業施設内に設置され
たコミュニティ拠点
『ネコサポステーシ
ョン』において、地域
情報の発信や交流イ
ベントが行われ、地
域コミュニティの活
動が促進される。



電球をHelloLightに交換して見守り



<https://nekosapo.kuronekoyamato.co.jp>

性化が図られると
もに、自治体や地域
事業者との協力的体制
によって、地域住民
の生活をサポートす
る家事・買い物代行な
どの生活関連サービ
スなども提供されて
いるというもの。
今回の取り組みは、
『ネコサポ会員』の宅
内に設置されたIoT
電球『HelloLight』が
一定時間ON/OFF
しない場合、
この電球が
自動的にネ
コサポ会員
の指定した
親族や知
人、そして
ヤマト運輸
ネコサポス
テーション
に異常検知
のメールを
発信すると
いうもの。
異常検知
のメールを
受信した際
に、親族や知人はネコ
サポ会員に確認をと
り、その際に連絡が取
れない場合は、同ステ
ーションに連絡。ネコ
サポ会員の自宅訪問が
指示される。
同ステーションスタ
ッフが訪問のうえ「安
否確認」を行い、応答
がない場合や異常があ
る場合は、高齢者向け
の相談窓口である地域
包括支援センターや、
必要に応じて警察など
に連絡を行うというシ
ステムになっている。
『HelloLight』は、
LEDとSIMが一体
化しているIoT電
球。電球本体が「LPWA
(Low Power Wide
Area)」に対応して
おり、点灯と消灯をチェ
ックして、その動きが
ない場合は指定したメ
ールアドレスに通知を
行うというもので、「ゆ
るやかな見守り」とし
て注目されているアイ
テム。

『栄養睡眠改善トレーナー』認定資格を取得して、
あなたも活躍してみませんか？



眠りと食事で毎日げんき！



一般社団法人 **日本栄養睡眠改善協会**

The Japan Association for Better Sleep and Nourishment